

記入例

※実際の文字色は黒。

産学連携による実践型人材育成事業 — 専門人材の基盤的教育推進プログラム — 申請書（様式）

プロジェクト名称：

産業界と連携したIT技術者の養成と評価の仕組み作り推進プロジェクト

■申請区分(該当区分を枠で囲む。)

A: 生産・ものづくり系

B: ICT系

C: 医療・福祉系

D: その他

(サービス系、ファッション・デザイン系、
ビジネス系、その他)

■代表校

*法人名：学校法人文科学園

*理事長名：文科 太郎

*学校名：IT文科専門学校

*校長名：文科 花子

*所在地：(郵便番号：000-0000)
東京都千代田区霞が関〇-〇

*プロジェクト責任者

職名：教務部長

氏名：文科 次郎

電話番号：03-0000-0000

メールアドレス：****@***.**.jp

*事務担当者

所属部局：事務部事務課

職名：事務係

氏名：文科 一郎

電話番号：03-0000-1111

FAX番号：03-0000-2222

メールアドレス：****@***.**.jp

「様式2」は5ページ以内で記述してください。

様式2

代表校名：文科専門学校

2 プロジェクトの内容等

(1)プロジェクトの概要(200字以内)

〇〇分野における〇〇な人材を・・・。

(2)プロジェクトの内容について(具体的な取組の内容。例えば、教育プログラムの開発、評価、教員の資質向上 等)

本プロジェクトは、〇〇分野における〇×な人材の養成を目的として……。……を目的とした教育プログラムの開発や……。具体的には……。

(3)プロジェクトの目標等について

①当該分野における人材ニーズ等の状況、その中でのプロジェクト実施の意義

本プロジェクトが対象とする〇〇分野の人材は……であり、このような状況に対応するため……。

②上記(2)の取組が求められている状況、本プロジェクトにより推進する必要性

〇〇教育プログラムの開発は……。……の点で効果が期待され、他の専門学校等については……。

③プロジェクト実施により期待する成果、目標

〇〇教育プログラムの実施により、……な人材養成が図られ……

(4)プロジェクトの実施計画について(連携体制、工程、普及方策 等)

(連携体制の構成図・スケジュール(工程))

他の専門学校等への普及については・・・。

(5)プロジェクトの評価について

①評価の体制・手法

評価体制については、実施委員会の中に・・・。

②目標達成度合いの測定指標

本プロジェクトの目標達成度合いの測定には、〇〇調査の結果を活用し・・・。

(6)プロジェクト終了後の方針について(継続性、発展性 等)

本プロジェクトの成果の活用を図るため、・・・。

3 プロジェクトに係る経費

(単位:千円)

経費区分	経費	積算内訳
<設備備品費>		該当がない場合は欄を削除
<旅費>	2,800	<国内旅費> 会議開催(大阪) @20×15回×5人 =1,500千円 " (福岡) @40×2回×5人 =400千円 実態調査(主要都市) @30×3回×5人=450千円 " (地方都市) @30×3回×5人=450千円
<人件費>	4,176	<謝金> 実施委員会出席 @9×10回×10人 =900千円 分科会出席 @9×10回×10人 =900千円 報告書執筆謝金 @2×150頁×2人 =600千円 シンポジウム出席謝金 @30×2人 =60千円 講座講師謝金 @9×3H×20日×3月=1,620千円 <雇用等経費> 作業補助員 @1×12日×8ヶ月 =96千円
<事業推進費>	3,614	<消耗品費> 事務用品 30千円 PCソフト 200千円 <借料・損料> 実施委員会会場借料 @10×10回 =100千円 分科会会場借料 @10×10回 =100千円 シンポジウム会場借料 @150千円×1日 =150千円 サーバー借料 @30×10月 =300千円 <印刷製本費> 報告書印刷 @0.5×2,000冊 =1,000千円 パンフレット作成 @0.2×3,000部 =600千円 <雑役務費> ホームページ作成 600千円

		<会議費> 実施委員会会議費 10回 2千円 分科会会議費 10回 2千円 <委託費> 〇〇支援ソフト開発 500千円 <交通費> 市内交通費 30千円
--	--	---

合計	10,590 千円
-----------	------------------